

普及活動情勢報告（令和6年4月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

春先の管理をしっかりやろう ～JA 土佐くろしおキュウリ部会現地検討会～



資料を説明する普及指導員

3月15、18、21日に須崎市と中土佐町で、JA 土佐くろしおキュウリ部会の現地検討会が開催され、生産者17人が参加して生育状況を確認し、温度や肥培管理について情報交換しました。

当課は、ミナミキイロアザミウマの野外・ハウス内調査の中間結果と、気象と収穫量の推移について情報提供し、春先の管理の重要性を説明しました。

参加者からは「被害はないがミナミキイロアザミウマがハウス内にいることに驚いた」、「環境測定装置のデータが色々と活用できることがわかった」との声が聞かれました。

当課は、今後もJAと連携し、キュウリの収量・品質の向上に向けた取組みを支援します。

データ駆動型農業に取り組もう ～ミョウガ先進地視察～



熱心に話し合う参加者ら

3月20日、宿毛市で、JA土佐くろしおミョウガ部会のミョウガの視察があり、生産者6人が参加しました。

ほ場では生育状況の確認や、ハウス内環境データを活用した栽培管理方法について意見交換を行いました。

生産者からは「栽培管理の中で特に気をつけているポイントを聞けて良かった」、「今後も他産地のミョウガを視察できる機会があれば参加したい」といった声がありました。

当課は、今後も関係機関と連携し、生産者の経営管理、栽培管理技術向上を支援していきます。

農薬事故を防ごう！農薬の適正使用を指導 ～JA 津野山園芸部総会～



農薬事故のない農業を呼びかける普及指導員ら

3月27日、JA 高知県津野山経済課で、生産者24人の参加のもとJA 津野山園芸部の総会が開催され、当課は農薬の適正使用について説明しました。

県内で起きている最近の農薬事故を受けて、JAからは農薬事故後の対応の実際と適正使用への注意喚起を、当課からは農薬使用に係る「使用前確認と使用后記録」の周知を図りました。

参加者は農薬使用の注意事項について、意識を高めた様子でした。農薬事故は産地の存続を揺るがせかねない大きな問題につながるものであり、未然に防ぐ取組みとして、当課は今後も農薬の適正使用の周知を続けていきます。

ハウス内の環境データを把握しよう！ ～JA 土佐くろしおシシトウ部会現地検討会～



意見交換を行う参加者ら

3月27日、須崎市内で、JA 土佐くろしおシシトウ部会の現地検討会が開催され、生産者20人、JA4人、当課3人が参加しました。当課は、SAWACHI 加入への呼びかけや、スマート家電やカメラ等のIoT機器について紹介しました。

生産者からは「ハウスの温度ムラを確認するためにスマート家電を設置したい」、「カメラを設置して夜中の電照状況を確認したい」といった声がありました。

当課は、今後もJAと協力してIoT機器についての情報提供を行い、環境データを活用した収量向上につなげていきます。

地域を支える集落営農組織の活動支援 ～神母野営農組合総会～



真剣に協議する参加者

3月30日、中土佐町神母野集落センターで神母野営農組合の総会が開催され、構成員8人が参加しました。

当課は、水稻品種「とよめき」の栽培管理における除草剤の使用について注意喚起しました。

参加者からは「除草剤を使う時は注意する」といった意見が出されました。

当課は今後も、組織活動の支援や水稻等についての情報提供をしていきます。

定植後の管理を徹底しましょう！ ～JA 高知県津野山園芸部なす部会米ナス現地検討会～



今後の栽培管理について
真剣に話を聞く参加者ら

4月9日、梶原町で、JA高知県津野山園芸部なす部会の米ナス現地検討会が開催され、8戸11人が参加しました。

当課は、SAWACHI環境データや地温データから、定植後の活着をスムーズに進めるためのハウス内温度管理についての情報を提供しました。

ハウス内では、サイド開閉の時間やかん水方法、葉面散布剤の散布方法などについて、参加者が活発に意見を交換しました。

当課は今後もJAと連携し、巡回による適期の指導、課題解決のための調査研究を進め、農家の米ナス栽培技術の向上を支援します。